



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月29日

上場会社名 株式会社 日清製粉グループ本社
コード番号 2002 URL <http://www.nisshin.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 総務本部広報部長
四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日

(氏名) 大枝 宏之
(氏名) 辻武 幸男

TEL 03-5282-6650

配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-----|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 27年3月期第1四半期 | 120,975 | 2.5 | 3,980 | △27.3 | 5,697 | △14.7 | 3,231 | △23.4 |
| 26年3月期第1四半期 | 118,078 | 6.6 | 5,474 | 6.2 | 6,677 | 6.3 | 4,221 | 9.0 |

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 6,526百万円 (△7.6%) 26年3月期第1四半期 7,064百万円 (492.9%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 27年3月期第1四半期 | 11.82 | 11.81 |
| 26年3月期第1四半期 | 15.44 | 15.44 |

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行っております。「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|-------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 27年3月期第1四半期 | 469,986 | 335,891 | 69.5 |
| 26年3月期 | 471,039 | 334,092 | 68.9 |

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 326,574百万円 26年3月期 324,775百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 26年3月期 | — | 10.00 | — | 10.00 | — |
| 27年3月期 | — | — | — | — | — |
| 27年3月期(予想) | — | 10.00 | — | 10.00 | 20.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行っております。平成26年3月期の第2四半期末の配当金につきましては、当該株式分割が行われる前の金額を記載しております。

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|---------|-----|--------|------|--------|------|--------|-----|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 253,000 | 5.7 | 9,900 | △3.9 | 11,400 | △3.8 | 7,700 | 8.2 | 28.16 |
| 通期 | 540,000 | 8.9 | 22,500 | 1.0 | 25,800 | 0.9 | 16,500 | 9.3 | 60.35 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) Nisshin Seifun Turkey Makarna Ve Gida Sanayi Ve Ticaret A.S.、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、【添付資料】P. 5「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】P. 5「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】P. 5「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

| | | | |
|----------|---------------|--------|---------------|
| 27年3月期1Q | 276,688,992 株 | 26年3月期 | 276,688,992 株 |
|----------|---------------|--------|---------------|

② 期末自己株式数

| | | | |
|----------|-------------|--------|-------------|
| 27年3月期1Q | 3,170,659 株 | 26年3月期 | 3,264,335 株 |
|----------|-------------|--------|-------------|

③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|---------------|----------|---------------|
| 27年3月期1Q | 273,485,252 株 | 26年3月期1Q | 273,325,680 株 |
|----------|---------------|----------|---------------|

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき1.1株の割合をもって株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、【添付資料】P. 3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 | 5 |
| (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 | 5 |
| (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 5 |
| (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 5 |
| (4) 追加情報 | 5 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 6 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 6 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 8 |
| (四半期連結損益計算書) | 8 |
| (四半期連結包括利益計算書) | 9 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 10 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 10 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 10 |
| (セグメント情報等) | 10 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

〔当第1四半期の概況〕

当第1四半期につきましては、デフレからの早期脱却と経済再生に向けた政府の取組みを背景として、企業業績が改善する一方、消費税率の引上げによる需要の変動、円安等による輸入原材料価格の上昇、根強い消費者の低価格志向等、当社を取り巻く環境は厳しいものとなりました。このような中、当社はトップライン（売上高）の拡大と海外事業の拡大を最優先戦略とする中期経営計画「NNI-120、スピードと成長、拡大」の取組みを加速し、国内では各事業におきまして市場の活性化に向け積極的な新製品の上市・拡販に取り組むとともに、更なる成長に向けて国内外で収益基盤の構築を進めました。製粉事業では、博多港に位置する福岡工場が本格稼働し、内陸部の筑後工場、鳥栖工場からの生産集約を完了しました。海外展開におきましては、米国の子会社であるMiller Milling Company, LLCが事業拡大のため、本年5月に米国内の製粉4工場を買収しました。これにより同社の小麦粉生産能力は米国で第4位の規模となりました。加工食品事業では、本年秋稼働予定のベトナムの調理加工食品工場建設、及び本年末稼働予定のタイのプレミックス工場増強工事は順調に進捗しております。また本年6月にはトルコに合弁会社Nisshin Seifun Turkey Makarna Ve Gida Sanayi Ve Ticaret A.S.を設立し、平成27年4月稼働予定でパスタ工場建設を進めております。なお、併せて冷凍パスタの生産・供給体制強化のため、マ・マーマカロニ(株)神戸工場において、平成27年5月稼働予定で冷凍食品工場の建設を進めてまいります。

これらの結果、売上高は国内の販売環境が厳しい中、海外事業の拡大等により1,209億75百万円（前年同期比102.5%）となりました。一方、利益面では、加工食品事業における原材料コストの上昇、製粉福岡工場の減価償却費の増加等により、営業利益は39億80百万円（前年同期比72.7%）、経常利益は56億97百万円（前年同期比85.3%）、四半期純利益は32億31百万円（前年同期比76.6%）となりました。

〔セグメント別営業概況〕

①製粉事業

製粉事業につきましては、引き続きシェアアップに向けてお客様との関係を強化する「価値営業」を推進しましたが、消費税率引上げによる需要の変動等により、国内業務用小麦粉の出荷は前年を下回りました。

生産・物流面では、引き続き生産性向上及び固定費削減等のコスト削減の取組みを推進するとともに、コスト競争力強化策として臨海大型工場への生産集約を進めております。九州地区では、博多港に位置する福岡工場が本格稼働するとともに、内陸部の筑後工場、鳥栖工場を閉鎖し、生産集約を完了しました。また、中部地区では、昨年10月に知多工場（愛知県知多市）の新ライン増設に着工し、平成27年5月稼働に向けて工事は順調に進捗しております。さらに、関西地区では、本年5月に平成27年4月稼働予定で東灘工場に隣接する阪神サイロ(株)の原料小麦サイロ収容力25%増設工事に着手しました。

副製品であるふすまにつきましては、価格は堅調に推移しました。

海外事業につきましては、M&Aにより取得した子会社の連結効果やMiller Milling Company, LLCの生産能力増強による出荷拡大等により売上は前年を上回りました。なお、Miller Milling Company, LLCは、事業拡大のため、本年5月に米国内において製粉4工場を買収し、同社の工場数は6工場となり、全米で第4位の製粉会社へと躍進しました。これにより、ニュージーランド、カナダ、タイを加えた製粉事業の海外生産能力比率は約50%に拡大しました。

この結果、製粉事業の売上高は531億31百万円（前年同期比110.0%）となりましたが、福岡工場の減価償却費の増加等もあり営業利益は19億円（前年同期比77.6%）となりました。

②食品事業

加工食品事業につきましては、家庭用では、当社独自の技術を活かし、生活者の個食化、簡便化等のニーズに対応した新製品を投入するとともに、テレビCMをはじめとした食シーンの提案活動や商品のターゲットに合わせた販売促進施策を展開しました。業務用では、新規顧客獲得に向けた積極的な提案活動を実施しました。売上は、家庭用では消費税率引上げによる需要の変

動等により、前年を下回りましたが、業務用は前年を上回りました。中食・惣菜事業につきましては、商品開発力強化による新規顧客の獲得や量販店向け惣菜の出荷拡大施策の推進により、売上げは前年を上回りました。海外事業につきましては、成長を続ける中国・東南アジア市場を中心に新規顧客の獲得に向けた積極的な商品提案に努め、販売環境の変動もありましたが、売上げは前年並を維持しました。

なお、ベトナムの新会社Vietnam Nisshin Seifun Co.,Ltd.では、本年秋稼働予定で調理加工食品工場の建設を進めております。Thai Nisshin Technomic Co.,Ltd.では、本年末稼働予定で業務用プレミックスの生産能力25%増強工事を進めております。また、パスタの生産体制を一層強化し、更なる事業拡大を実現するため、本年6月、トルコに合弁会社Nisshin Seifun Turkey Makarna Ve Gida Sanayi Ve Ticaret A.S.を設立し、平成27年4月稼働予定でパスタ工場建設を進めております。なお、併せて冷凍パスタの生産・供給体制強化のため、マ・マーマカロニ(株)神戸工場において、平成27年5月稼働予定で冷凍食品工場の建設を進めてまいります。

酵母・バイオ事業につきましては、酵母事業においてイースト等の拡販に努め、またバイオ事業において補酵素をはじめとした診断薬原料等の拡販に努めましたが、需要は低調で売上げは前年を下回りました。

健康食品事業につきましては、積極的な販売促進施策により消費者向け製品の販売は好調に推移しましたが、医薬品原薬等が低調だったことにより、売上げは前年を下回りました。

この結果、食品事業の売上高は591億61百万円(前年同期比98.0%)、営業利益は17億93百万円(前年同期比69.8%)となりました。

③その他事業

ペットフード事業につきましては、積極的な新製品の投入等でプレミアムペットフードの出荷が好調に推移しましたが、販売競争の激化等、厳しい市場環境が継続しており、売上げ全体では前年を下回りました。

エンジニアリング事業につきましては、主力のプラントエンジニアリングで、大型案件の受注減の影響等により、売上げは前年を下回りました。

メッシュクロス事業につきましては、スクリーン印刷用資材や自動車部品向け等の化成品が好調に推移し、売上げは前年を上回りました。

この結果、その他事業の売上高は86億81百万円(前年同期比92.3%)、営業利益は3億6百万円(前年同期比68.3%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産、負債、純資産の状況は以下のとおりです。

流動資産は2,092億21百万円で、現金及び預金の減少、有価証券の増加等により、前年度末に比べ71億87百万円減少しました。固定資産は2,607億64百万円で、主に投資有価証券の増加により、前年度末に比べ61億33百万円増加しました。この結果、総資産は4,699億86百万円で前年度末に比べ10億53百万円減少しました。また、流動負債は842億21百万円で、主に未払費用及び未払法人税等の減少により、前年度末に比べ62億12百万円減少しました。固定負債は498億74百万円で主に退職給付に係る負債の増加により、前年度末に比べ33億60百万円増加しました。この結果、負債は合計1,340億95百万円で前年度末に比べ28億52百万円減少しました。純資産は、その他の包括利益累計額の増加等により、前年度末に比べ17億98百万円増加し、3,358億91百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

我が国の経済は、企業業績の回復、雇用情勢の改善等、緩やかな景気回復の動きがみられます。一方、当社を取り巻く環境は、本年4月に実施された消費税率引上げによる個人消費への影響、円安等による輸入原材料価格の上昇、消費者の低価格志向の継続等、引き続き厳しいことが予想されます。このような環境下におきましても、当社は国民の主要食糧である小麦粉の安定供給を確保し、安全・安心な製品をお届けするという使命を果たしてまいります。

また、3年目となる中期経営計画「NNI-120、スピードと成長、拡大」を着実に進め、引き続きトップライン(売上高)の拡大と海外事業の拡大を最優先戦略として、各事業において

戦略施策を積極的に実行してまいります。

平成27年3月期の連結業績見通しにつきましては、引き続き、厳しい市場環境が想定されますが、業績の回復に向けて上記施策を着実に進め、売上高は5,400億円（前期比108.9%）、営業利益は225億円（前期比101.0%）、経常利益は258億円（前期比100.9%）、当期純利益は165億円（前期比109.3%）と、当初の予想を据え置いております。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

Nisshin Seifun Turkey Makarna Ve Gida Sanayi Ve Ticaret A.S.は、当第1四半期連結会計期間より、新たに設立したため連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項（法定実効税率を使用する方法）に準じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて、当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、平均残存勤務期間に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産が487百万円減少し、退職給付に係る負債が2,568百万円増加するとともに、利益剰余金が1,950百万円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

当社の連結子会社であるMiller Milling Company, LLCは、Cargill, Inc.、Horizon Milling, LLC、ConAgra Foods Food Ingredients Company, Inc. から、平成26年5月25日に米国の製粉4工場を取得しました。

なお、四半期連結財務諸表作成に当り、Miller Milling Company, LLCの四半期決算日（平成26年3月31日）現在の四半期財務諸表を使用し、本取得により譲り受けた資産・負債については、当第1四半期連結財務諸表に反映されておられません。

また、譲り受けた資産・負債の詳細な項目及び金額については、現在、取得原価配分を実施しており、確定しておりません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 49,104 | 39,990 |
| 受取手形及び売掛金 | 67,486 | 63,865 |
| 有価証券 | 28,869 | 32,854 |
| たな卸資産 | 58,484 | 58,311 |
| その他 | 12,686 | 14,415 |
| 貸倒引当金 | △222 | △216 |
| 流動資産合計 | 216,409 | 209,221 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 49,187 | 48,599 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 35,089 | 33,864 |
| 土地 | 38,143 | 38,167 |
| その他(純額) | 6,519 | 8,319 |
| 有形固定資産合計 | 128,939 | 128,951 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 5,008 | 4,774 |
| その他 | 7,990 | 7,544 |
| 無形固定資産合計 | 12,998 | 12,319 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 105,975 | 112,568 |
| 退職給付に係る資産 | 487 | — |
| その他 | 6,361 | 7,057 |
| 貸倒引当金 | △132 | △131 |
| 投資その他の資産合計 | 112,692 | 119,493 |
| 固定資産合計 | 254,630 | 260,764 |
| 資産合計 | 471,039 | 469,986 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (平成26年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 45,785 | 43,586 |
| 短期借入金 | 6,607 | 6,162 |
| 未払法人税等 | 4,481 | 1,523 |
| 引当金 | 228 | 69 |
| 未払費用 | 17,725 | 14,500 |
| その他 | 15,605 | 18,378 |
| 流動負債合計 | 90,433 | 84,221 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 3,367 | 3,105 |
| 引当金 | 1,655 | 1,653 |
| 退職給付に係る負債 | 19,073 | 21,499 |
| 繰延税金負債 | 15,828 | 17,215 |
| その他 | 6,588 | 6,400 |
| 固定負債合計 | 46,514 | 49,874 |
| 負債合計 | 136,947 | 134,095 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 17,117 | 17,117 |
| 資本剰余金 | 9,483 | 9,504 |
| 利益剰余金 | 266,581 | 265,127 |
| 自己株式 | △3,088 | △2,997 |
| 株主資本合計 | 290,094 | 288,751 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 32,253 | 35,624 |
| 繰延ヘッジ損益 | 21 | △68 |
| 為替換算調整勘定 | 4,237 | 4,001 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △1,831 | △1,734 |
| その他の包括利益累計額合計 | 34,680 | 37,822 |
| 新株予約権 | 260 | 235 |
| 少数株主持分 | 9,057 | 9,081 |
| 純資産合計 | 334,092 | 335,891 |
| 負債純資産合計 | 471,039 | 469,986 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 118,078 | 120,975 |
| 売上原価 | 81,966 | 85,477 |
| 売上総利益 | 36,111 | 35,497 |
| 販売費及び一般管理費 | 30,637 | 31,517 |
| 営業利益 | 5,474 | 3,980 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 46 | 52 |
| 受取配当金 | 806 | 891 |
| 持分法による投資利益 | 135 | 522 |
| その他 | 272 | 319 |
| 営業外収益合計 | 1,261 | 1,785 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 33 | 43 |
| その他 | 25 | 23 |
| 営業外費用合計 | 58 | 67 |
| 経常利益 | 6,677 | 5,697 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 3 | — |
| 投資有価証券売却益 | — | 3 |
| 負ののれん発生益 | 263 | — |
| 特別利益合計 | 267 | 3 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 108 | 97 |
| 訴訟和解金 | — | 732 |
| 買収関連費用 | 83 | — |
| 訴訟関連費用 | 77 | — |
| 特別損失合計 | 270 | 830 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 6,674 | 4,870 |
| 法人税等 | 2,232 | 1,443 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 4,442 | 3,426 |
| 少数株主利益 | 220 | 194 |
| 四半期純利益 | 4,221 | 3,231 |

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日) |
|------------------|---|---|
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 4,442 | 3,426 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △731 | 3,364 |
| 繰延ヘッジ損益 | △31 | △60 |
| 為替換算調整勘定 | 3,269 | △256 |
| 退職給付に係る調整額 | — | 64 |
| 持分法適用会社に対する持分相当額 | 115 | △12 |
| その他の包括利益合計 | 2,622 | 3,099 |
| 四半期包括利益 | 7,064 | 6,526 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 6,227 | 6,374 |
| 少数株主に係る四半期包括利益 | 837 | 152 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

〔セグメント情報〕

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額(注3) |
|-----------------------|---------|--------|---------|-------------|---------|-------------|---------------------------|
| | 製粉 | 食品 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 48,296 | 60,374 | 108,671 | 9,407 | 118,078 | — | 118,078 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 5,003 | 123 | 5,126 | 1,179 | 6,306 | △6,306 | — |
| 計 | 53,299 | 60,498 | 113,798 | 10,586 | 124,384 | △6,306 | 118,078 |
| セグメント利益 | 2,450 | 2,567 | 5,017 | 448 | 5,466 | 7 | 5,474 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、エンジニアリング、メッシュクロス、荷役・保管事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注1) | 合計 | 調整額 (注2) | 四半期連結 損益計算書 計上額(注3) |
|-----------------------|---------|--------|---------|-------------|---------|-------------|---------------------------|
| | 製粉 | 食品 | 計 | | | | |
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 53,131 | 59,161 | 112,293 | 8,681 | 120,975 | — | 120,975 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 5,022 | 122 | 5,144 | 956 | 6,101 | △6,101 | — |
| 計 | 58,154 | 59,284 | 117,438 | 9,638 | 127,076 | △6,101 | 120,975 |
| セグメント利益 | 1,900 | 1,793 | 3,694 | 306 | 4,000 | △20 | 3,980 |

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ペットフード、エンジニアリング、メッシュクロス、荷役・保管事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。